

令和３年度 第１回 泉大津市総合交通戦略策定協議会 議事録【書面開催】

令和３年度第１回泉大津市総合交通戦略策定協議会は、コロナ感染症の拡大を踏まえて書面開催となりました。

【１ 策定の趣旨と策定フローについて】

質疑は特になし

【２ 泉大津市総合交通戦略素案（案）について】

本協議会（書面開催）において、委員からの主な意見は以下の通りでした。

○ グラフの西暦・和暦表記について

本編の多くのグラフでは「2009 年」など西暦表記となっているが、横軸が「H26」など和暦表記の表記になっているグラフもある。統一するか又は本文（例「平成 27(2015)年」）のように併記する方がよい。

指摘を踏まえ、本文にあわせ「和暦＋西暦」（H26(2014)）で表記しました。また、他のグラフについても統一を図りました。

○ 放置自転車対策について

放置自転車対策については、創意工夫による事業実施の結果、撤去業務日数が減少したものであり、文章表現について修正が必要。

指摘を踏まえ、当該文章を以下のとおり修正しました。

→「泉大津駅、松ノ浜駅、北助松駅の３駅周辺は「泉大津市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、自転車等の放置禁止区域に指定しています。平日に限らず土曜日、日曜日でも放置自転車等の指導啓発と撤去を行い、効率的な放置自転車対策に取り組んでおり、警告数・撤去台数は減少傾向にあります。」

放置自転車撤去台数について、目標値「1,000 台」が現状撤去台数「850 台」より増えることになっているが、増えることは良くないのではないか？（放置台数を減らすことが本来）

当初の目標値は、第４次泉大津市総合計画において設定されている数値であるが、現状では、850 台(H29)→796 台(H30)→417 台(R1)と減少傾向にあることを踏まえ、不要と判断し、戦略目標から削除しました。

○ 北助松駅周辺の交通対策・にぎわい空間整備の検討について

北助松駅周辺の視点をもう少し書いた方がよいのではないか？

安全性向上等によってにぎわいにつなげていくことを課題として整理する必要はないか？

指摘はございましたが、北助松駅を含む駅周辺の拠点についての全体の内容を記載している。また、課題本文において安全で快適に回遊できる交通環境の確保が十分でないと整理しており、課題としての「回遊性」の中に安全の意味も含んでいることから、原文のままとしました。

○ 和泉府中駅周辺の空間整備の検討について

和泉府中駅周辺の空間整備の検討については、もう少し記載できる内容がないか検討が必要。

指摘を踏まえ、当該箇所を以下のとおり修正しました。
→府道富田林泉大津線の穴田交差点における交通事故対策等

○ 自転車の利用ルールの認知度について

「自転車の利用ルールの認知度は、…約 5 割と低い。」となっているが、「図 自転車のルール認知」にあるように多くの項目で認知度は高い。しかしながら、ルールを守らないことに問題があると考えており、表現を変えてください。

指摘のとおり、全ての項目で半数以上がルールを認知しているが、この結果だけからルールを守らないことが問題とは言い切れないため、以下のとおり、事実のみを記載に修正しました。

→「自転車の利用ルールの認知は、全ての設問に対して半数以上の人ルールを認知しているが、「歩道は歩行者優先なので車道寄りを徐行」、「子供のヘルメット着用」が他項目に比べて低い。」

○ 臨海部への通勤アクセス向上の検討について

「送迎バス共同運行の実施」を中心に展開されているが、送迎バス共同運行の必要性について、その理由を明確にする必要がある。「事業者からの声が一定ある。」というだけでは弱いと思います。

一定の内訳は、共同運行を希望する事業所が事業所の約 3 割（25 社）
25 社の従業員アンケートで条件により利用したいが 16.4%、条件により利用したいが 40%であるが、事業所全体で考えた時、一定数のニーズと言えるのか？

事業者や従業員によるアンケートでは、バス共同運行へのニーズは高くなく、また、市民からのクレームや要望、危険度に対する意見などが大きくないのであれば必要性・緊急性が高くないと考えられ、今後の検討課題に、「状況に応じて組織づくりや社会実験の検討」と記載するには、検討すべき状況に達していないと考えます。（10 年間の計画ですが、どのような状況になれば検討すべきと考えているのかが重要ではないでしょうか？）

指摘を踏まえ、今後の検討課題については、現状を踏まえ、施策の必要性や緊急性の検討が必要とし、従業員送迎共同バスについては、施策の展開の 1 つの可能性として位置づけました。また、「臨海部への通勤アクセス向上の検討」については重点施策から外すこととしました。